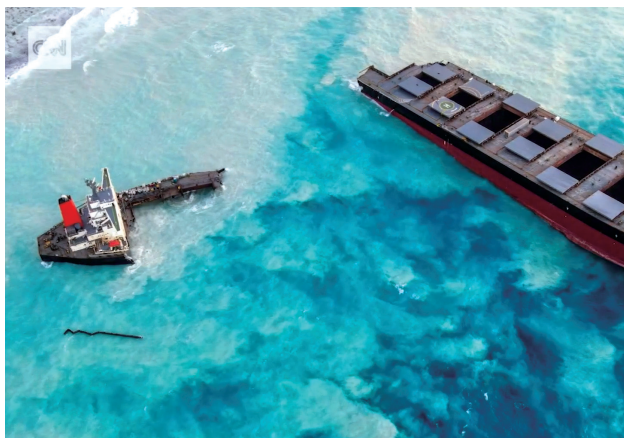




Mauritius Hit by Oil Spill

貨物船が真っ二つ! モーリシャス沖で座礁の波紋、燃料大流出



モーリシャス沖で船体が2つに折れた日本の貨物船

これだけは覚えておきたい!!

oil spill [ɔɪl spɪl]	石油流出
run aground [əˈɡraʊnd]	座礁する
fuel [fjuːəl]	燃料
wash ashore [əˈʃɔːr]	岸に流れ着く
scoop up [skʊp]	~をくみ上げる

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 英文を見ずに、CNNの生英語(3)を聴いてみよう。

Check!

Practice 2 英文を見ながら音声を聴いてみよう。
必要ならゆっくりスピード(ポーズなし(4)/ポーズ入り(5))も活用してみてください。

Practice 3 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ 余力のある方は、巻末の問題集にチャレンジしてみてください。

Mauritius Hit by Oil Spill

A Japanese tanker ran aground off Mauritius two weeks ago, and it's been spilling fuel into the sea. The fuel has been washing **ashore**, as you can see here. Satellite images show the slick is more than a kilometer long. Well, now, the situation could even get worse, as the tanker is starting to break apart. We know that volunteers are turning out to scoop up oil with their **bare** hands.

≫71 words (August 11, 2020)

貨物船が真っ二つ！ モーリシャス沖で座礁の波紋、燃料大流出

2週間前（7月25日）、日本の貨物船がモーリシャス沖で座礁し、以来、燃料が海に流出し続けてきた。ご覧のように、燃料は周辺沿岸に流れ着いている。人工衛星写真で見ると、流出した油は1キロ以上にわたって広がっているのがわかる。しかも、貨物船の船体が分裂し始めているので、今後、状況はさらに悪化するかもしれない。ボランティアが集まって、素手でも重油をすくい取っていることが確認されている。

（訳 石黒円理）

リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないので、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

語の最後の [r] の音が発音されない方言では、二重母音がしばしば長母音のように発音される。

2行目の **ashore** ≫ [アショー]

最終行の **bare** ≫ [ベー]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

このアンカーは、南アフリカ英語の話し手ですが、イギリス英語に近い発音です。イギリス英語のように、語の最後の [r] の音が発音されない方言（オーストラリア英語なども含みます）では、二重母音がしばしば長母音のように発音されます。ashore は、アメリカ英語では、[ア^{ショ}ア] に近い響きになりますが、ここでは、[オ^アア] のように聞こえる二重母音が [オー] のように聞こえる長母音で発音されており、[ア^{ショ}ー] に近い響きになっています。bare は、アメリカ英語

では、[ベ^アア] に近い響きになりますが、ここでは、[エ^アア] のように聞こえる二重母音が [エー] と [アー] の中間くらいに聞こえる長母音で発音されており、[ベ^ー] と [バ^ーー] の中間くらいの響きになっています。また、最近のイギリス英語では、appear, beer, clear, here, idea, year などにおいて、[イ^アア] のように聞こえる二重母音が [イー] と [エ^ーー] の中間くらいに聞こえる長母音で発音されることが増えてきました。

解説 南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）